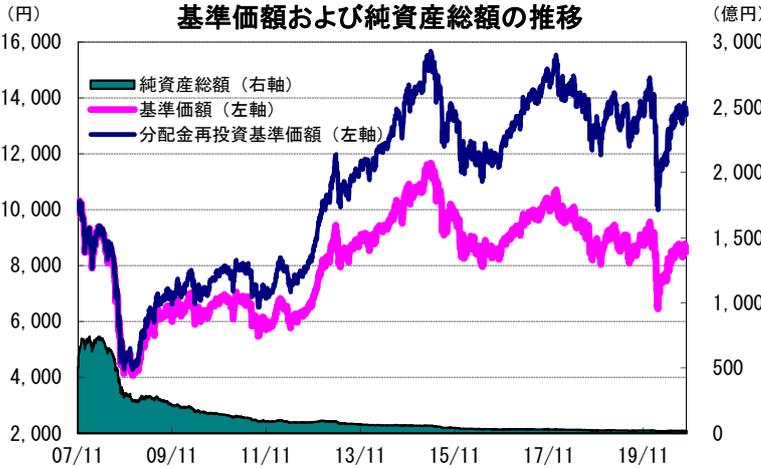


# スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

基準日 2020年10月30日



\* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
\* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2007年11月30日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額	8,503円
純資産総額	18.31億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	97.3%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.6%
現金等	2.1%

### 【ご参考】

#### 基準価額変動の要因分解(月次ベース)

基準価額変動金額	221円	
内訳	株式等	390円
	アジア太平洋地域	390円
	中東地域	0円
	為替	-56円
	その他	-113円

\* 金額は対象期間における基準価額(分配金込み)の変動を表したものです。  
\* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

\* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託を含みます。  
\* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	1.67%	1.86%	13.51%	-0.63%	-8.56%	33.89%

\* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

### 分配金実績(税引前)

決算期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	18/11/12	19/1/10	19/3/11	19/5/10	19/7/10	19/9/10	19/11/11	20/1/10	20/3/10	20/5/11	20/7/10	20/9/10
分配金	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円
分配金累計	直近12期計		設定来合計									
	540円		3,495円									

### ポートフォリオの配分

#### 国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	中国	21.9%	94.2%
	香港	19.8%	
	台湾	19.3%	
	オーストラリア	12.2%	
	その他	21.0%	
中東	UAE	1.3%	1.7%
	サウジアラビア	0.4%	
現金等	-	4.1%	4.1%
合計		100.0%	100.0%

#### 通貨別配分

	通貨	比率
1	香港ドル	40.5%
2	台湾ドル	20.2%
3	豪ドル	12.7%
4	韓国ウォン	7.4%
5	インドルピー	4.6%
	その他	14.6%
	合計	100.0%

#### 業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	22.0%
2	金融	18.8%
3	一般消費財	17.2%
4	コミュニケーション	11.7%
5	生活必需品	10.5%
	その他	19.8%
	合計	100.0%

\* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

\* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。  
\* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。  
\* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。  
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。  
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

# スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

基準日 2020年10月30日

## 基準価額および純資産総額の推移



\* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。  
\* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	1.50%	1.77%	12.69%	-0.31%	-7.12%	166.76%

\* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

\* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
\* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2008年11月12日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年11月10日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額	26.676円
純資産総額	0.26億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	94.5%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	5.5%

## 【ご参考】

### 基準価額変動の要因分解(月次ベース)

基準価額変動金額		395円
内訳	株式等	778円
	アジア太平洋地域	778円
	中東地域	0円
	為替	-112円
	その他	-271円

\* 金額は対象期間における基準価額の変動を表したものです。

\* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

## 分配金実績(税引前)

決算期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	10/11/10	11/11/10	12/11/12	13/11/11	14/11/10	15/11/10	16/11/10	17/11/10	18/11/12	19/11/11
分配金	0円									

分配金累計	直近10期計	設定来合計
	0円	0円

## ポートフォリオの配分

### 国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
	アジア太平洋	中国	21.9%
香港		19.8%	
台湾		19.3%	
オーストラリア		12.2%	
その他		21.0%	
中東	UAE	1.3%	1.7%
	サウジアラビア	0.4%	
現金等	-	4.1%	4.1%
合計		100.0%	100.0%

### 通貨別配分

通貨	比率
1 香港ドル	40.5%
2 台湾ドル	20.2%
3 豪ドル	12.7%
4 韓国ウォン	7.4%
5 インドルピー	4.6%
その他	14.6%
合計	100.0%

### 業種別配分

業種	比率
1 情報技術	22.0%
2 金融	18.8%
3 一般消費財	17.2%
4 コミュニケーション	11.7%
5 生活必需品	10.5%
その他	19.8%
合計	100.0%

\* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

\* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。  
\* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。  
\* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。  
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。  
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

# スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年10月30日

## 組入上位銘柄

組入銘柄数	40
-------	----

NO	銘柄名	Pnote	国・地域	業種	組入比率	配当利回り
1	Tencent Holdings Ltd		中国	コミュニケーション・サービス	7.5%	0.2%
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	情報技術	7.3%	2.5%
3	AIA Group Ltd		香港	金融	7.0%	1.8%
4	MediaTek Inc		台湾	情報技術	5.4%	2.2%
5	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	情報技術	5.1%	2.5%
6	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd		香港	金融	4.3%	2.1%
7	Transurban Group		オーストラリア	資本財・サービス	4.1%	3.0%
8	CSL Ltd		オーストラリア	ヘルスケア	3.9%	1.1%
9	eMemory Technology Inc		台湾	情報技術	3.3%	1.3%
10	Aristocrat Leisure Ltd		オーストラリア	一般消費財・サービス	3.2%	0.1%

\* 上記の銘柄の中には現株を含みます。  
 \* 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。  
 \* 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

\* 比率はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。  
 \* 配当利回りは12ヶ月配当利回り(税引前)です。  
 \* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

## 地域別組入上位銘柄の概要

### アジア・太平洋地域

アジア太平洋	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	Tencent Holdings Ltd		中国	騰訊[テンセント・ホールディングス](Tencent Holdings Limited)は投資持株会社。中国、米国、欧州などのユーザーにインターネットおよびモバイル付加価値サービス(VAS)、オンライン広告サービス、電子商取引サービスを提供する。
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	台湾積体回路製造[TSMC/台湾セミコンダクター](Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd)は半導体メーカー。ウエハー製造、フローピング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社のIC(集積回路)はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。
3	AIA Group Ltd		香港	友邦保険控股[AIAグループ](AIA Group Ltd)は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。
4	MediaTek Inc		台湾	聯発科技[メディアテック](MediaTek Inc)は、無線通信およびデジタルマルチメディア・ソリューションのファブレス半導体メーカー。無線通信、高解像度テレビ、光ディスク、DVD、ブルーレイ製品向けのSOCシステムソリューションを提供する。
5	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	サムスン電子(Samsung Electronics Co., Ltd)は電子機器・電気製品メーカー。半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビなどをはじめとする民生用ならびに産業用電子機器・製品を製造、販売。エアコン、電子レンジなどの家電製品や、インターネット・アクセス・ネットワーク、携帯電話などの通信機器システムも製造する。

### 中東地域

中東	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	First Abu Dhabi Bank PJSC		UAE	ファースト・アブダビ・バンク(First Abu Dhabi Bank PJSC)は銀行。預金、個人向けローン、e-バンキング、貿易金融、外貨取引、その他の銀行サービスを手掛ける。世界各地で事業を展開。
2	Saudi British Bank/The		サウジアラビア	サウジ・ブリティッシュ・バンク(Saudi British Bank)は、預金業務、リテールおよびコマース・バンキング・サービスを提供。消費者・シジケートローン、仕組み債、プロジェクト金融、証券仲介、ファイナンシャル・プランニング、プライベート・バンキング、ミューチュアルファンド、ファクタリング、財務サービスなどを手掛ける。

\* 上記は個別銘柄の取引を推奨するものではありません。  
 \* 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。  
 \* 出所: 各社ホームページ

\* 上記はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドの組入上位銘柄です。  
 \* ADRとは主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことであり、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。  
 \* P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことであり、中東は全組入銘柄の概要です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

## スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年10月30日

## コメント

## ■市場環境

## 《アジア株式》

当月、アジア株式市場はまちまちの値動きとなりました。

フィリピン、インドネシア、中国などの株式市場が堅調に推移しましたが、タイ、韓国、マレーシアは軟調に推移しました。ニューエコノミーセクターの業績が好調であったことから、テクノロジー・ハードウェア関連、ヘルスケア関連、インターネット関連企業の株価が堅調に推移しました。

中国でも、新型コロナウイルス感染拡大後の経済が力強く回復し、国内消費が反発しました。10月のゴールデンウィーク(黄金周)には6億人以上が国内を旅行しました。新型コロナウイルスの感染状況が改善し、複数のアジア諸国は国境を超えた活動を再開するべく「旅行バブル」に備えています。国境の完全な再開には少なくとも数ヶ月はかかるでしょう。米国大統領選挙の影響で株式市場のボラティリティは高まりましたが、市場関係者はバイデン候補の勝利により、米中関係の緊張が若干緩和すると考えている模様でした。

インドでは、銀行の「資産の質(不良債権)に対するストレス」が予想より小さかったため、業績が予想を上回ったことが、金融セクターのプラスのリターンをもたらしました。インド準備銀行(中央銀行)は、経済を下支えするために緩和的な金融政策を継続しました。

インドネシアやフィリピンでも、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加が安定的に推移したため、当月の株価は反発しました。

## 《中東株式》

当月、中東株式市場はまちまちの値動きとなりました。

原油価格の下落と経済見通しの悪化が一因となり、サウジアラビアとドバイの株式市場が特に軟調に推移しました。

## 《通貨》

当月、アジア地域の通貨は、対日本円でまちまちの値動きとなりました。

韓国ウォン、台湾ドル、中国人民元などが対日本円で上昇し、オーストラリアドル、インドルピー、マレーシアリングギットなどが下落しました。

## ■運用状況

## 《アジア株式》

当月、当ファンドが保有する株式のリターンは、プラスとなりました。

セクター別では、通信サービスセクター、情報技術セクターなどがプラスに貢献し、資本財セクター、金融セクター、公益事業セクターなどがマイナスに影響しました。

国別では、台湾、中国、インドネシアがプラスに貢献し、オーストラリア、香港、フィリピンなどがマイナスに影響しました。銘柄別では、Tencent Holdings(中国/情報技術)、MediaTek(台湾/情報技術)、eMemory Technology(台湾/情報技術)などが、プラスに貢献しました。一方で、AIA Group Ltd(香港/金融)、Puregold Price Club(フィリピン/生活必需品)、Transurban Group(オーストラリア/資本財)などが、マイナスに影響しました。

当月は、当ファンド組入銘柄の「Poya International(台湾/小売)」について、ご紹介します。

同社は、台湾最大級の雑貨販売業者です。同社の主要ブランド「Poya」は女性客をターゲットにし、ファッション性の高い化粧品、スキンケア、美容製品、その他家庭用品の販売に注力しています。2019年に設立された第二ブランドの「Poya Home」は男性客をターゲットにし、工具、家の修繕用品、自動車部品など家庭用ハードウェアの販売に注力しています。

同社の創業者夫妻は、台湾南部のナイトマーケットで屋台として事業を始めました。二人は台湾南部に初の「Poya」の店舗を開店し、現在では台湾全体で250店舗近くを運営しています。「Poya」は屋台と同様、「バリュー・フォー・マネー(価格に見合った価値のある)製品」を提供しますが、店舗環境は屋台より優れていて組織化されています。「Poya」は、ヘアクリップ、リップスティック、マニキュアなどの女性用アクセサリなどの品揃えが豊富なことでもよく知られています。一般的な薬局やパーソナルケアストアのSKU(最小管理単位)が15,000であるのに対し、典型的な「Poya」の店舗は60,000 SKUを取り扱っています。同社は屋台と「Watsons」や「Cosmed」のようなパーソナルケアやドラッグストアの中間の業態を作り出すことに成功し、依然として女性客に人気です。

同社の粗利益率は、過去10年間にわたって着実に伸びてきました(2009年の28.7%に対し、2019年は43%)。純利益率も同様で、2009年の3.5%から2019年には12%に上昇しました。

利益率の改善をもたらした主な要因は次の通りです。

- (1) 店舗数の増加に伴う、サプライヤーに対する規模の優位性
- (2) 効率を高めるITおよび物流システムへの早期投資
- (3) 市場シェアの獲得および業界統合(競合企業の市場撤退)による価格競争の緩和

同社は台湾に「Poya」を約400店舗出店できると考えているため(現在250店舗)、成長見通しは依然魅力的と、私どもは考えます。

(次ページへ)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



# スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年10月30日

## コメント

(前ページより)

2019年には男性顧客をターゲットとするために、「家庭用ハードウェアセグメント」に参入しました。経営陣は台湾で家庭用ハードウェアを販売する1,500店舗の大半が家族経営であるという業界の細分化した性質を踏まえ、同社傘下のグループ企業の経営経験とインフラを活用すればセグメントを統合できると考えています。同社が2019年に出店した5店舗の「Poya Home」は来店者に好評で、2020年末までに約30店舗になる見込みです。「Poya Home」は「Poya」と同程度の約40%の粗利益率を達成すれば、規模が50店舗を超える2021年に黒字転換すると予想し、同社経営陣は2025年までに220店舗の「Poya Home」出店を目指しています。

経営陣の強力な執行力、持続可能な利益率、明確な成長戦略により、同社のROE(株主資本利益率)は約40%であり、高いキャッシュフロー創出力を有しています。配当利回りは4%、PER(株価収益率)は約27倍であり、同社の長期的な投資機会は魅力的と、当ファンドは考えています。

当ファンドは、引き続き既存の投資先を注視し、また今後の投資先候補の企業に関する調査も継続することで、優れたビジネスモデル、良好なバランスシート、持続的な成長の見通しを備えた「優良企業」を選別してまいります。

### 《中東株式》

当月は、First Abu Dhabi Bank(アラブ首長国連邦/金融)がパフォーマンスにプラスに貢献した一方、Saudi British Bank(サウジアラビア/金融)はマイナスに影響しました。

経済の低迷により、不良債権に対する貸倒引当金を積み増す可能性が高まっています。短期的には、手元資金の確保と自己資本比率の維持を目的として減配が行われる可能性があります。

### 《通貨》

当月、アジア地域および中東地域の通貨は、対日本円でまちまちの動きを見せ、全体的な為替変動は、当ファンドのリターンにマイナスに影響しました。

## ■今後の見通し

### 《アジア株式》

短期的な投資家心理は、米国大統領選挙の結果と新型コロナウイルス感染症のワクチン開発に左右されるでしょう。世界の金利は経済を下支えするため、低水準で維持されるでしょう。当期も企業および個人を支援する政府の財政政策が重要になると考えられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響が収束するまで経済成長率は標準以下で推移すると、当ファンドは予想しています。

ただし、長期的な投資機会をもたらす構造的なトレンドが生じていると、当ファンドは考えています。デジタル化は医療、教育、買い物、通信、銀行、その他多くの、生活のあらゆる側面で加速しています。ニューエコノミー企業の出現と、デジタル化に伴う変化を受け入れるオールドエコノミー企業の変革により、成長を生み出し、投資家にとって魅力的なリターンを提供することが可能になるでしょう。当ファンドが調査し、注視している分野の一つが、電気自動車セクターとそのサプライチェーンです。同セクターは間もなく多くの関連企業にとって、より明確で持続可能な収益性への道筋を持つところまで十分に大きく成長すると、当ファンドは考えています。

人口構成による下支え、消費行動の変化、インフラ支出、新たなセクター/マーケットの発達といったアジア地域の構造的トレンドは、長期的な投資を行って利益を獲得する機会を潤沢に提供してくれるでしょう。私どもは、消費、インフラ、技術革新といった長期的テーマの恩恵に浴する優良企業に注目することで、不確実な情報に惑わされて不合理で短絡的な取引をすることのないように心掛けてまいります。アジア地域はこうした長期的かつ構造的なトレンドを活かせる質の高い投資先候補銘柄が多数存在する有望市場であると、私どもは考えます。

### 《中東株式》

原油市場の価格変動が激しく、地政学的リスクがあることから、当ファンドは中東の株式市場を慎重に見ています。

「コロナ危機」によって経済成長は失速し、失業率が上昇しています。経済成長の減速や政府の財政収支の悪化は依然として投資家心理に影を落としています。銀行セクターは短期的に不良債権への圧力に直面する可能性があります。

長期的には、銀行セクターのM&A(企業買収・合併)が引き続き中東地域の主な投資テーマの一つになるでしょう。当ファンドは、金融セクターの保有銘柄を引き続きポジティブに見ています。

### 《通貨》

通貨は、短期的には資本フローの影響によって大きく変動すると思われませんが、長期的観点で見ると、アジア地域および中東地域の経済のファンダメンタルズに力強さがみられることから、両地域の通貨は対日本円で上昇すると、私どもは考えます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。